

CASBEE大阪 OF THE YEAR 2014 表彰候補建築物 採点結果一覧表

No.	6	表彰部門	住宅						
建築物名称	プラウド南田辺								
建築主	野村不動産(株)								
設計者	清水建設(株)								
建設地	東住吉区南田辺1丁目								
建物用途	集合住宅(分譲)								
ランク	A	BEE値	2.2	公表	H24-14	工事完了	25年5月	受付	H23-56

【CASBEE大阪みらいの総合評価】

(BEE値を15点満点に換算)	6.7 / 15	A
-----------------	----------	---

【設計上の配慮事項等の評価】

①独創性・先進性				
<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫がなされ独創的な取組があるか ・新しい技術が活用され先導的取組があるか 	平均点 (平均評価点)			
<ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅としては、技術要素は一般的であるが、外構でのリズムカルガーデン、プレイロット、アプローチ棟と居住棟間の植栽など、グリーンの採り入れ方が興味深い。 ・中庭とエントランスが連続。 ・自転車置き場の緑フェンスやシンボルツリーのある植栽などヒートアイランド対策を意識した積極的な緑化を行なっている。太陽光発電により共用部の電力をまかなうとともに居住者への表示を実施し意識向上を図っている。 ・沿道沿い・中庭など敷地内の各所に効果的に緑が配置されており、居住者と周辺の街並みの両者に対して、緑豊かな空間を演出している。 ・豊かな緑地(みどりヒートアイランド対策)。特に、専用庭廻りは、前面道路(歩行者)への景観的配慮がうかがえる。 	3.8 (2.5)			
②調和性・統合性				
<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容は合理的で効率的か ・計画内容は、建築デザインにうまく取り込まれているか。 また、周辺まちなみとの調和を図っているか 	平均点 (平均評価点)			
<ul style="list-style-type: none"> ・特に、パーソナルな印象となる南側の外縁に連続かつ周期的に変化する植栽を設けることで、地域に溶け込み、景観資源として地域に貢献している。 ・高さがある割に周囲にとけ込んでおりかつリズムカルガーデンが戸建感覚をかもし出している。 ・生け垣などの充実した緑化により周辺環境にうるおいを提供している。防災用のかまどベンチや災害対応自販機を設けるなどの配慮がある。 ・建物南側に設けられた専用庭は、戸建て住宅の広がる周辺環境との間の緩衝空間となり、また樹種の異なる樹木で構成された生け垣が街並みに豊かな彩りを与えている。 ・端正なファサードに仕上がっている。 ・ゴミ置き場をエントランス付近に配置し利便性を高めた(但し、匂い ならびに、ゴミ置き場のドアを開けることと、エントランス・通路を通行する人との動線交差は問題ないか?) 	4.4 (2.9)			
③取組姿勢				
<ul style="list-style-type: none"> ・建築主の環境配慮への積極的な取組姿勢が伺えるか。 また、その取組姿勢が、他の建築主の規範となりうるか 	平均点 (平均評価点)			
<ul style="list-style-type: none"> ・住人と周辺、双方への貢献を狙った植栽の利用は素晴らしく、その姿勢は他の建築主の規範となりえる。 ・ふつうの人がふつうに生活しやすさを大事にしている。 ・自然環境を意識した緑化の姿勢は評価できる。 ・緑地の配置や樹種の選定において、居住者と近隣の双方に対する心遣いが伺われ、その取り組み姿勢は他の建築主への模範となる。 ・防災設備の充実 ・緑量の確保 	4.2 (2.8)			
合計	12.4	平均評価点	8.2 / 10	B

※ A+B が評価点の合計(25点満点)となる。

評価点の合計

14.9



プラウド南田辺

所在地：東住吉区南田辺 1 丁目 3 番 6
 主用途：集合住宅（分譲）
 事業者：野村不動産株式会社
 設計者：清水建設株式会社

〔建築概要〕

延床面積：7530.88m²
 階 数：地上 15 階、地下 0 階
 構 造：鉄筋コンクリート造
 完 了：平成 25 年 5 月

〔CASBEE 大阪における評価〕

サステナビリティランキング : A
 建築物の環境性能効率 (BEE) : 2.2



エントランス
アプローチ外観

■コンセプト

『豊かな自然と暮らす～自然生態系配慮住宅の創出による快適な住環境づくり～』をコンセプトとし、

- ①季節の変化を享受できる空間づくり
- ②人と生き物が共存できるデザイン
- ③環境配慮の見える化

をテーマに、住宅価値の向上を目指した。

「CO₂削減」、「省エネ対策」だけでなく、「みどりヒートアイランド対策」にも配慮し、バランスが良く、総合的で環境性能の高い建築物とした。

■配慮事項

・住戸は全戸南向き（連続バルコニー方式）とすることにより、住環境の向上を図り、共用部には中庭や渡り廊下などの半屋外空間を設け、通風や採光などの自然エネルギーを取り込みました。

・敷地南西角に緑あふれるプレイロットを設け、南北の二面の接道沿いにも豊かな緑地帯を設けました。また建物を敷地境界から離し、セットバック形状とすることで、周辺環境に与える影響に配慮しました。

・植栽を環境装置ととらえて、樹種を選定し、エントランスアプローチ、中庭、プレイロット、専用庭廻りにはシンボルとなる樹木を配置しました。

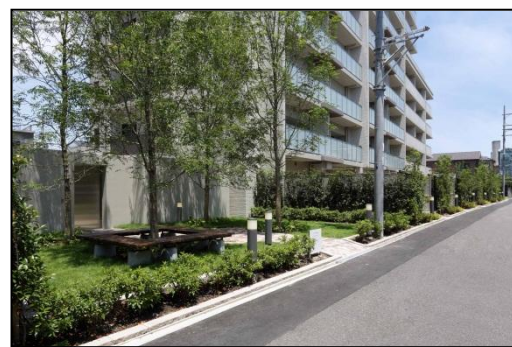
・太陽光発電を設置し、共用部の照明等に利用するとともに、発電量を表示することで、入居者の意識喚起を図りました。



全戸南向き住戸と豊かな緑地（南側外観）



太陽光発電装置（屋上設置）



南西角のプレイロットと道路際の植栽